

## 元気スタイル1 「こども輝くまち」を創る

これまでの子育て支援に加え、「子育て」を力強く応援し、未来を担う子ども達が夢や希望を持ちながら、充実した教育環境のもとで目を輝かせて学び、心豊かにそしてたくましく成長できるまちを創ります。

### 1 くらしと学びの応援創り

#### 1 (仮称) 子ども条例の制定と子育ての推進

##### 【概要】

子どもに関わる全ての大人が地域ぐるみで子どもの成長を見守り、応援するとともに、子育ての取組の方向性を示した「子ども未来プラン」の着実な推進を図るため、子どもの権利を守り成長を応援する「(仮称) 子ども条例」を制定します。

##### 【令和元年度実績】

- ・庁内検討会議を行う中で、11月末までに素案を作成し、12月下旬から1月下旬にかけてパブリックコメントを実施した。
- ・パブリックコメントでいただいた意見や提言を参考とする中、条例案を策定し、3月議会に上程した。

#### 2 子ども応援センターを核としたネットワークの構築

##### 【概要】

地域における子育て支援の担い手の育成や、学習支援等を含む子どもの交流・相談の場づくり等の活動を支援するネットワークの整備、市内小中学校を対象とした学用品等を中心にリユース事業の実施など、子どもが健やかに成長できる仕組みづくりを推進します。

##### 【令和元年度実績】

- 子どもの交流・相談の場作りへの支援  
「学習支援の担い手育成を兼ねた子どもの居場所」づくりの支援として、学習支援等を兼ねた子どもの居場所として、国母の応援センターにおいてモデル事業を行った。(令和元年11月より毎週月曜日に16回、登録者15名、延べ参加者65名)
- 学用品等リユース事業  
中学校5校、小学校2校の7校で実施し、来年度に向けて新規小中学校に協力を依頼した。(中学校5校(南・北西・城南・東・西) 小学校2校(伊勢・相生))
- 空き家の活用  
地域コミュニティの活性化や子育ての支援を促進するための補助制度を創設した。

#### 3 時代に即した学習の支援

##### 【概要】

国際化・情報化(情報技術)などが進む中、世界で活躍できる人材や情報技術の知識・技能を習得した人材などを育成するため、外国語教育の充実を図るとともに、タブレットパソコンを整備して教育のICT化を進め、学習意欲の向上と、「主体的・対話的で深い学び」を推進します。

##### 【令和元年度実績】

- ・予定どおりすべての学校にタブレットパソコンを設置した。

#### 4 学校環境の向上

##### 【概要】

学校施設長寿命化計画を策定し、老朽化が進む小中学校のトイレを衛生的で機能的なトイレ環境へと年次的に整備するとともに、通学路・避難路に面するブロック塀等の所有者に対して、ブロック塀等の撤去・改修工事費の一部を助成するなど、子どもたちの学習及び生活の場である学校施設等の環境改善を進めます。

##### 【令和元年度実績】

###### ①【小中学校 学校施設長寿命化計画】

- ・小学校1校及び中学校1校のトイレリニューアル工事を実施した。
- ・学校施設長寿命化計画策定に向け、各学校の老朽化調査等を完了した。
- ・令和2年度工事予定の5校について、自主設計による実施設計を行った。

###### ②【私有ブロック塀等の撤去・改修費助成事業】

- ・ホームページや広報に掲載を行うとともに、庁舎や公民館及び中道交流センターに掲示を行い啓発を図った。
- ・9月に行った東地区の5自治会での戸別訪問時に76件の周知を行った。
- ・10月、11月に行った東地区の9自治会の戸別訪問時に162件の周知を行った。
- ・ブロック塀等に関する電話や窓口などの相談に113件対応し、14件の補助申請の受付を行った。

## 2 たくましさ創り

#### 5 子ども運動遊びを推進するプレイリーダーの養成

##### 【概要】

子どもの運動能力の更なる向上に向けた人づくりとして運動遊びを効果的に実践できるプレイリーダーや指導者の育成を図るとともに、プレイリーダーを介して保護者と子どもが運動遊びを体験できるイベントを開催し、子どもの健全な心身の成長を応援します。

##### 【令和元年度実績】

- ・保育士、幼稚園教諭、小学校教諭等を対象にプレイリーダー研修会を6回実施した。 ※ 6/30 (15名)、7/7 (8名)、8/31 (21名)、11/9 (37名) 1/25 (14名) 2/1 (17名)
- ・研修会に参加した保育士による現場での「運動遊び」の実践の様子を確認し、現場のニーズの把握に努めた。
- ・親子を対象にした運動遊びイベントを2回実施した。 ※10/26 (252名)、12/21 (51名) ※10/13 台風19号の影響で中止
- ・民間保育所を訪問し、研修会後のOJTの様子を視察した。

#### 6 子ども運動遊び場の提供

##### 【概要】

幼児教育センターなど既存施設を活用し、子どもの健全な心身の成長に必要な幼児期における「遊び」を中心とした身体活動をいつでも楽しめるよう「運動遊び場」を提供します。

##### 【令和元年度実績】

- ・屋内運動遊び場の創設に向けた検討を行った。  
(施設内装・遊具の検討、事業費の縮減に向けた検討、地方創生推進交付金の事前相談・申請等)
- ・プレイリーダーを介した遊び場の提供に関する検討を行った。

7

## 遊亀公園及び附属動物園の整備

### 【概要】

子どもがいいきと元気に遊べる場として、また、子どもからシニアまで多くの市民が集い憩える場として、遊亀公園及び附属動物園を一体的に整備し、賑わいと交流を創出していきます。また、2019年の動物園開園100周年を記念して、これまでの動物園の歩みや役割を再認識していただくイベントを開催し、より一層親しまれ誇れる動物園を目指します。

### 【令和元年度実績】

- ・遊亀公園及び附属動物園の整備についてはパブリックコメントをとりまとめ、実施計画を6月に決定した。
- ・動物に係わる調査研究機関である帝京科学大学から意見聴取を行い、3月に基本設計を作成した。
- ・国からの交付金の活用に向け、都市再生整備計画事業制度の再編等に伴い、新たに創設される都市構造再編集集中支援事業へ12月に本要望を申請し、要望額のとおり交付金が採択された。
- ・動物園開園100周年のイベントをアニマルマルシェ実行委員会と協働で6月下旬に実施し、来園者は約4,500人と盛況であった。
- ・動物園開園100周年イベントは、公募型プロポーザル方式により、9月中旬に事業者を選定した。
- ・動物園開園100周年イベントを、11月9、10日（土、日）をメインに実施し、2日間の合計来場者数は約15,300人と盛況であった。

8

## 子ども・若者の意見表明の場創出

### 【概要】

次代を担う若者が「甲府」について主体的に考え、夢や想いを伝える機会を創出することにより、市政への興味・関心を高め、将来的なまちづくりの担い手の育成へとつなげるとともに、地域ぐるみで子育てを応援する機運の醸成や、子ども未来プランの推進及び取組のPRを図るため、子ども未来フォーラムを開催します。

### 【令和元年度実績】

- ・「高校生と市長との甲府みらい会議」として、8月6日（火）に市役所本庁舎1階市民活動室にて開催し、公募により、市内13高校のうち7高校、計31名の高校生が参加した。また、開催レポートを作成し、参加高校へフィードバックするとともに、HPIに公開した。
- ・甲府みらい会議の次年度の実施に向けた検討を行った。
- ・令和元年度の甲府みらい会議内で提案された「高校生の居場所づくり」について検討を進めた。
- ・甲府みらい会議に参加したチームの学校内での発表会に参加し、意見交換会後の取組について確認した。

# 元気スタイル2 「健康といきがいのまち」を創る

市民一人ひとりが、住み慣れた地域で「いきがい」や「きずな」を大切にしながら、いつまでも健やかで活躍できる「元気 City こうふ」を創ります。

## 1 健康の好循環創り

### 9 健康支援センターの拠点機能の発揮

#### 【概要】

市民の生涯を通じた総合的な健康づくりを進める「健康支援センター」が、その拠点機能を発揮し、健康づくりに関する教室を開催するなど、身近な地域で様々な保健事業や子育て支援事業を展開することにより、「ひと」、「地域」、「まち」の健康づくりを推進します。

#### 【令和元年度実績】

- ・フレイル予防に関する事業決定および、対象者抽出及び募集
- ・山梨学院大学健康栄養学部との連携及び専門職検討会の開催
- ・あなたの地区の出張保健室における健康教育：10回（健康相談は、27地区において31回実施）
- ・各地区での健康教育：536回実施。（あなたの地区の出張保健室における健康教室を除く。）
- ・北部出張保健室：64回
- ・地区単位以外（全市等）を対象とした健康教育：66回（「おいし食・楽しく・元気塾」を除く。）
- ・「おいし食・楽しく・元気塾」を1クール（全5回）実施、評価

### 10 健康都市の宣言

#### 【概要】

「健康都市こうふ基本構想」推進の一環として、市民と地域・行政が一体となり健康づくりに取り組むことで、健康寿命の延伸を図りながら、活力ある甲府市を目指し、その方向性を市民の永続的な道標とするため、「健康都市宣言」を行うとともに、自治会・学校・医療・企業コンソーシアムを含む産業など、多様な主体が取り組む「健康づくり」との連携・融合を図り、市全体の健康づくりを推進します。

#### 【令和元年度実績】

- ・健康都市こうふ基本構想庁内推進委員会の開催（4/23、5/29）
- ・健康都市こうふ都市宣言策定委員会の開催（5/24）
- ・宣言文案の作成とパブリックコメントの実施（7/1～7/31）
- ・9月市議会定例会における議案の可決（9/19）
- ・市制施行130周年記念式典にて「健康都市宣言」の発表（10/17）
- ・広報こうふや甲府市ホームページ、講演、パンフレットの配布など「健康都市宣言」の普及啓発（10/18～）

11

**緑が丘スポーツ公園の再整備****【概要】**

市民の健康増進・体力づくりに寄与し、生涯スポーツ活動の拠点となるよう、緑が丘スポーツ公園の再整備を計画的に行います。先行して、県が施工する緑が丘アクセス道路整備の影響を受けるテニスコート〔Aコート〕や、野球場と船出広場のそれぞれ一部を整備し、その他施設の更新を検討します。

**【令和元年度実績】**

- ・今年度、山梨県との協議により、アクセス道路の事業用地を更地にする期限が、令和2年度末から令和3年度末に変更された。これを踏まえ、今年度は、全体の基本設計を行い、当初は今年度、単独費により行う予定だった実施設計を、来年度、交付金を活用し行うこととした。なお、基本設計の請負業者は8月下旬に、長寿命化計画策定に係る業者は、6月下旬に決定した。
- ・補償契約の締結に向けて、関係機関とも連携する中で山梨県との補償交渉を進めている。
- ・公園全体の基本設計については年度内に完成し、その成果を基に社会資本総合整備計画を策定し防災・安全交付金事業（メニュー：防災公園）として交付金申請を行い採択された。
- ・各施設の健全度調査を基に長寿命化計画を策定し、緑ヶ丘スポーツ公園全体の中長期の整備方針を決定した。

12

**地域・職域連携の推進****【概要】**

市内における小規模事業所（従業員50人未満）の従業員等を対象とした「生活習慣病等予防講習会」を実施するなど地域保健と職域保健との連携を深める中で、健康情報の共有や保健事業の共同実施などに取り組み、生涯を通じた健康づくりの充実を図ります。

**【令和元年度実績】**

- ・生活習慣病等予防講習会の周知・募集については、市ホームページ掲載、甲府市工業協会加入事業所へチラシ郵送、健康教育用ポスター・リーフレットを作成した。
- ・50人以上の事業所で生活習慣病等予防講習会を1回実施した。
- ・協会けんぽ、国民健康保険課と当課の3者で保健事業に関する情報共有、健診結果提供に関する協議を実施し、覚書を交わした。
- ・産業部商工課に生活習慣病等予防講習会の募集について相談し、甲府市工業協会役員の事業所への電話によるアプローチを実施。また、観光協会に相談し、事業者へのアプローチを検討中。
- ・市内小規模事業所において、講習会を5回実施
- ・職域層の健康課題について、協会けんぽ、国民健康保険課と共有
- ・次年度の働きかけについて産業部より情報提供

## 2 いきがいときずな創り

### 13 いきがいインフォメーションの推進

#### 【概要】

市民が自分に合った「いきがい」を見つけ、充実した人生を送れるよう、市ホームページ上に特設サイトとして、「（仮称）いきがい発見・応援サイト」を開設し、市民にとってわかりやすく、選択ができ、活用できる各種セミナー等の情報提供を行います。

#### 【令和元年度実績】

- ・特設サイトの開設準備として、市ホームページ上での効果的なサイトづくりのため、業者・関係部署と連携・協議を鋭意行った。
- ・特設サイトにおける基本情報の構築を行い、3月の公開に向け準備を進めたが、感染症拡大防止の影響から活動の場である施設が使用できなくなったことから公開を見送ることとなった。

### 14 地域で支え合う福祉サービスの創設

#### 【概要】

一人暮らし高齢者や認知症高齢者等が増加する中、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の実情に応じた地域包括ケア体制の構築に向け、住民をはじめとする多様な主体が参画した通いの場や生活支援などのサービスを充実させることで、高齢者の暮らしを地域で支え合うサービス提供体制づくりを進めます。

#### 【令和元年度実績】

- ・生活支援体制整備事業については、①第1層協議体を2月に開催、②第2層協議体の設立会・ワークショップ等に参加
- ・訪問型サービスBについては、「（仮称）困りごと支援活動」は事業決定。「（仮称）笑顔ふれあい訪問サポート」は事業の枠組み構築
- ・通所型サービスBについては、「（仮称）笑顔すこやか通所サークル」は事業の枠組み構築

### 15 防災リーダーの育成

#### 【概要】

防災活動の中心的な役割を担う自治会役員や地元住民に加え、新たに民間企業の従業員や外国人市民に対して積極的に働きかけを行い、防災リーダーとして育成・登録し、災害時に地域で活躍できる幅広い人材を確保します。また、自主防災組織と連携した防災活動を行うことで、自治会、企業、外国人市民が一体となり地域のきずなを強め、更なる地域防災力の向上を図ります。

#### 【令和元年度実績】

- ・自治会連合会を通じ、外国人を含めた防災リーダー研修受講者の推薦を依頼した。
- ・FM甲府、広報での防災リーダー研修受講者の募集を行った。
- ・災害協定締結企業に対し防災リーダー研修受講に関するチラシの配布を行った。
- ・外国人への対応が可能な防災リーダーの育成について、山梨県防災多言語支援センターとの連携を検討した。
- ・防災リーダーの活動を助長するため、防災士認定取得に関する助成制度を検討し、R2年度予算化した。
- ・地区防災計画に係わるアフターフォローの中で、防災リーダー不在自治会に対し受講依頼を行った。

# 元気スタイル3 「女性活きいきのまち」を創る

個性や能力を活かしながら、職場、地域、家庭など様々なステージで活躍する女性を応援し、それぞれが思い描くライフスタイルを実現できるまちを創ります。

## 1 活躍創り

### 16 「(仮称)日本女性会議2021 in甲府」の開催

#### 【概要】

2021年の日本女性会議の開催に向け、「甲府らしさ」を創出した日本女性会議となるよう市民と産学官が連携・協働して取り組むなかで、甲府で活躍する女性たちの取組を積極的に発信し、更なる男女共同参画意識の醸成を図ります。

#### 【令和元年度実績】

- ・6月28日に設立総会及び第1回実行委員会を開催した。
- ・9月28日に第2回実行委員会を開催した。
- ・11月に企画部会の下部組織である4部会（総務・企画・広報・おもてなし）を設立した。
- ・各部会を開催し、部会の全体計画策定及び各部会の所掌事務等について討議した。

### 17 女性たちで創るマルシェの実施

#### 【概要】

「マルシェ」を通じて女性の活躍と交流の場を創出するとともに、夢を叶え起業した女性や、起業を目指して活動している女性たちの姿を「男女共同参画フォーラム」等において広く市民に知っていただき、多くの女性を応援する機運を高めます。

#### 【令和元年度実績】

- ・「甲府市男女共同参画フォーラム2020」の開催日は2月29日で決定し、実施要領等の調整を行った。
- ・委託内容、委託業者の決定を行った。
- ・10月からマルシェの参加者を募集するとともに、各自治会・市内小学校等へ開催チラシの配布などの周知を行ったが、開催直前に新型コロナウイルス感染症拡大防止により、マルシェは中止となった。

### 18 「こうふまちづくりラウンジ」の実施

#### 【概要】

市内で活躍する様々な分野の女性たちが集い交流する機会「こうふまちづくりラウンジ」を提供し、女性の視点や感性でまちづくり等をテーマに意見交換を行うとともに、参加者相互の連携を促進し、ネットワークの形成を図っていきます。

#### 【令和元年度実績】

- ・6月にこうふまちづくりラウンジ設置要綱、委員公募要綱の制定、検討テーマを決定した。
- ・7月に、関係団体に各分野で活躍中の女性8名の推薦を依頼し、同時に公募委員2名についてもHP等で募集を行い、8月に委員10名を選定した。
- ・9月27日に、委嘱状交付式及び第1回ラウンジを開催し、今年度のテーマ「女性の活躍の現状と課題」について、意見交換を行った。
- ・令和元年11月27日に第2回ラウンジを開催し、テーマ「健康」「キャリア教育」「起業」について、意見交換を行った。
- ・令和2年1月29日に第3回ラウンジを開催し、テーマ「就労（仕事と子育て等の両立）」「地域における男女共同参画」「農業」について、意見交換を行った。
- ・令和2年3月6日に第4回ラウンジとして、市長に報告書を提出する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、延期とした。

## 2 ライフ・デザイン創り

### 19 女性活躍等に係る提案支援

#### 【概要】

女性活躍等の普及・啓発に取り組んでいる市民団体等から、ワークライフバランスや女性の就業・起業など女性の活躍に係る企画事業を募集し、効果や成果が期待できる事業の実施に要する経費の一部を助成することで、女性の多彩な活躍をアシストするとともに、「甲府市女性活躍支援サイトなでしこプラス」を活用し、その取組を発信していきます。

#### 【令和元年度実績】

- ・7月1日に提案支援事業費補助金交付要綱を制定した。
- ・7月1日に提案支援事業補助金募集要領を制定し、7月22日～9月30日まで企画提案事業を募集し、3件の提出があった。
- ・応募のあった提案支援事業について審査会を開催し、採択事業3件を決定した。
- ・3件の採択事業に対して補助金を交付し、女性の多彩な活躍をアシストした。

### 20 女性の就業・起業の応援

#### 【概要】

継続した起業研修会の実施や資金調達面での支援など、女性による起業を後押しするとともに、合同企業説明会において、再就職を希望する女性と企業にマッチングの場を提供し、女性の再就職を支援します。

#### 【令和元年度実績】

- ・実施計画の策定及び開催する研修プログラムの構築、受講者の募集を行った。
- ・融資実行時に係る信用保証料について、山梨県信用保証協会と来年度からの実施に向けた協議を2回実施し、具体的な方法について検討を行った。
- ・合同企業説明会に参加する企業を募集する際に、女性の活躍に向けた取組を事前にアンケートにより聴取した。
- ・10月より全5回のスクール形式の研修プログラムを実施し、その結果の分析・課題等に基づき、次年度以降の研修策定を行った。
- ・女性おうえん資金の追加に向けて、甲府市中小企業振興融資条例及び、甲府市中小企業振興融資条例施行規則の一部改訂を行った。
- ・山梨県信用保証協会と事務手続きについて協議を行い、事務取扱契約書の内容を確定した。
- ・合同企業説明会や女性の就業を支援するためのセミナーのほか、表彰された事業所と市長との意見交換会を開催し、その様子等を就職応援サイトに掲載した。

# 元気スタイル4 「潤いと活力あるまち」を創る

地域資源の魅力や地場産業の競争力を高めて、人や新たな産業を呼び込むとともに、リニア時代を見据えた都市基盤の整備や、安全安心な地域づくりを進め、賑わいと活力があふれるまちを創ります。

## 1 地域産業・未来産業創り

### 21 キャッシュレス化の推進

#### 【概要】

キャッシュレス決済事業者や民間事業者、関係機関等と連携してキャッシュレス化を推進し、本市におけるキャッシュレスの取組を誘引・活発化させることで、商業の活性化や市民の利便性の向上を図るとともに、インバウンドをはじめとする観光の振興を図ります。

#### 【令和元年度実績】

- ・本市が実施する「おもてなしショップ」等に登録する265事業者に対して導入調査を実施した結果、107事業者の導入を確認した。
- ・市内中小・小規模事業者に対し、キャッシュレスの導入に向けたセミナーを7月22日に市民活動室で開催した。(参加者26名)
- ・モデル事業参加店舗に対してQRコード決済端末の導入を促進するとともに、観光客等にキャッシュレスサービスの利用を促す広報活動を連携して推進するため、東日本電信電話(株)山梨支店と「キャッシュレス決済サービスの導入促進に関する連携協定」を9月17日に締結した。
- ・引き続き前期の調査で未導入とした事業者に対し、モデル事業への登録を勧奨するとともに、中心市街地空き店舗活用補助金の活用事業者やはっこうマルシェ出店事業者に対してモデル事業への登録を勧奨した。

### 22 販路開拓の支援

#### 【概要】

地場産品に係る海外トップセールスやプロモーション活動を実施するとともに、事業者が国内外の展示会等へ出展する際の支援、海外販路開拓等を行う際の基本事項等を学ぶセミナーの斡旋、甲府市産業支援サイトを活用した情報発信を行うなど販路開拓を支援し、地場産業の振興を図ります。

#### 【令和元年度実績】

- ・トップセールス実施のため、ジェトロ山梨に業務を委託し、訪問先等の調整を図った。
- ・タイ国にてトップセールスを実施した。その際、タイ国とのジュエリー産業に関する連携体制を構築していくことに合意した。その後、「覚書」を締結する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により来日できなくなり、締結が延期となった。
- ・事業者の販路拡大支援として、「甲府市地場産業販路開拓支援事業費補助金交付要綱」を制定した。
- ・JTBパブリッシングを活用し、ポスター等を作成するとともに、全国誌、旅行誌への掲載など、広くスパークリングワインをPRした。

23 **観光客の誘客促進**

**【概要】**

こうふ開府500年、東京オリンピック・パラリンピックなどを契機に、本市の観光資源である歴史、ワイン、ジュエリー、伝統、そして昇仙峡や甲府名山などを最大限活用して外国人を含む観光客を誘引する施策を実施するとともに、第2次甲府市観光振興基本計画を見直す中で交流人口の増加による観光振興と地域の活性化、本市の認知度の向上を図ります。

**【令和元年度実績】**

- ・コンセプトバスツアー造成事業として、（一社）甲府市観光協会とR1年9月2日に委託契約を締結した。大阪・名古屋での観光商談会における商談での説明や、個別に旅行事業者等へセールスを行うなど事業の実施に取り組んでいる。
- ・観光客誘致促進タイアップ事業として、(株)JTBパブリッシングが発行する定期購読旅行専門誌「ノジュール」にタイアップ記事を掲載する委託契約をR1年7月1日に結び、10月号（9月下旬発行）に掲載した。（発行部数：約43,000部、掲載ページ数：6ページ）
- ・おもてなしショップMAP作成（12月以降）に向け、ショップ情報の集約などの準備を行った。
- ・インバウンドセミナー開催に向けた実施時期の検討を行い、多くの方に参加いただけるようにオフシーズン（1～2月）での開催とする方針を定めた。
- ・甲府名山手帳を3,000部作成（R1年8月9日納品）し、山の日全国大会、公民館及び甲府市観光案内所等で配付を行った。2,000部を増刷（R1.9.12納品）し、公民館及び甲府市観光案内所等で配付を行った。
- ・コンセプトバスツアー造成事業委託に基づき、32台のツアーバスが運行され、1,254名の送客につながった。
- ・コンセプトバスツアーにおいてアンケート調査を実施し、ニーズの把握に努めた。
- ・市内約50の「甲府市おもてなしショップ」へ誘導する誘客ツールとして、QRコード付きのポストカードを作成したが、観光商業施設・事業者への配布については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、配布時期を終息後まで延期することとした。
- ・インバウンドセミナーについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、当面の開催を見合わせ、次年度以降の実施とすることとした。
- ・甲府名山の25山のうち、片山、天狗山、愛宕山、夢見山、大笠山の5山に標柱を設置した。  
（その他・関連事業）インバウンド向けweb媒体（JAPAN TIMELINE）に記事広告を掲載し、訪日外国人観光客の誘客に努めた。

24 **新産業・未来産業の立地促進**

**【概要】**

新たな成長産業や未来産業を見据え、企業の動向及び進出ニーズ等のリサーチを行う中で企業を訪問し、情報交換を行いながら、特定機能補強地区を中心に民間開発を視野に入れた産業立地を促進します。併せて、受け皿となる事業用地確保のための仕組み等を構築し、企業立地を支援します。

**【令和元年度実績】**

- ・農業企業331社の基礎情報を収集し、訪問の資料となるアンケート調査票の発送に向け、準備を行った。また、情報通信業1社とコールセンター業1社を訪問し、情報通信業1社が情報交換を行う中で本市に立地する見込みとなっている。
- ・3000㎡以上の土地を抽出（ブロック区分）し、土地所有者、面積、賃貸借関係等の情報のデータベース化を進めた。
- ・農業企業へのアンケート調査により34社から回答を得た。そのうち6社に訪問したところ、3社が本市への立地に興味を示したため、次年度以降も情報交換を行う予定となっている。なお、情報通信業やコールセンター業などを含め計14件の企業訪問を行った。
- ・抽出した土地所有者、面積、賃貸借関係等の情報を基に、インフラの整備状況を確認し地図データを作成した。

## 農業への最先端技術の普及

### 【概要】

「甲府市産業ビジョン」に掲げる「稼ぐ力の向上」に向けて、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、農作業の省力化や効率化を図るスマート農業の普及を推進することにより、「稼ぐ農業」を実現するプロファーマーの育成を進めるとともに、農業者の労働力不足の解消を図ります。

### 【令和元年度実績】

- ・ICTを活用した農業の実用性及び可能性について、農業者及びJAと協議・検討を行い、9月にいちごを導入作目として選定した。  
（JA職員及びJA山梨みらいナス部会との検討会4回、いちご栽培農家との検討会3回）
- ・いちご農家と協議し、測定項目を気温、湿度、土壌温度、土壌湿度、電気伝導度とした。
- ・いちごハウスに気象観測センサー（気温、湿度、土壌温度、土壌湿度、電気伝導度、CO2濃度）を2機導入し、気象データの測定を開始した。

## 2 未来へと続く住みよい暮らし創り

## リニア新時代を見据えた都市環境の創出

### 【概要】

人口減少・少子高齢社会等の社会的課題を踏まえ、リニア開業効果を最大限享受し、豊かな自然を活かした潤いのある生活環境と活力ある都市環境の共生につなげるため、「甲府市リニア活用基本構想」に基づくまちづくりプロジェクトを推進します。

### 【令和元年度実績】

- ①甲府市リニア活用基本構想の推進
  - ・15の施策に基づく41の取組について、リニア活用推進委員会（幹事会）を開催する中で、前年度実績と今年度上半期における各取組の進捗状況を確認した。
- ②リニアKSプロジェクトの推進
  - ・リニア近接地域における一部エリアの市街化区域編入について、県の都市計画に位置づけられるよう協議を行った。
  - ・組合施行による土地区画整理事業の促進のため、高室町において、今後の進め方や区画整理事業の仕組みの説明及び意見交換を行うなど、発起人会の立ち上げに向けたまちづくり研究会等を実施した。

## 都市計画道路の整備

### 【概要】

未整備の都市計画道路を効率的、効果的に整備するため、「都市計画道路整備プログラム」に基づき、順次事業化を図ります。

### 【令和元年度実績】

- ・城東三丁目敷島線については、住民の合意形成に向けた協議を行うとともに、継続して県との協議を行った。
- ・住吉四丁目善光寺線については、橋梁架け替えに伴う河川協議を整えるため、河川管理者と協議を行った。
- ・高畑町昇仙峡線については、予備設計業務が完了し、継続して管理者協議を行った。

## 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

### 【概要】

将来にわたって市民の移動手段を確保し、安全で快適な生活環境を形成するため、「甲府市地域公共交通網形成計画」に基づき、課題解決に向けた各種施策を進め、持続可能な公共交通ネットワークを形成します。

### 【令和元年度実績】

- ・個人の利用ニーズに応じた専用の「マイバス・鉄道時刻表」作成・提供（R1.5月～）
- ・バス停周辺のコンビニなどの民間施設等（3施設）と連携し「バス縁地」制度を実施（R1.7月～）
- ・拡充した「サイクル・アンド・ライド」駐輪場民間施設（3施設）の運用開始（R1.7月～）
- ・多言語（英語・中国語・韓国語）に対応した「甲府市観光バスマップ」の配布準備（R1.9月）等
- ・宮本・能泉地区および上九一色・中道地区コミュニティバス事業、代替バス委託を実施した。（H31.4～R1.9月）
- ・網形成計画住民説明会について、甲府市立地適正化計画（素案）説明会と合同で市内5ブロックにおいて開催（R1.10～11月）
- ・甲府市バス・鉄道乗る乗るレンジャー「みなみおばちゃん」の交通環境学習動画を用い、小中学校で出前講座（動画放映）を行った（R1.10～R2.2月）
- ・バス利用促進を図るポスター案を複数作成した（R2.3月）。「観光周遊モデルルート提供事業」においてモデルルート（4ルート）を作成した。（R2.3月）
- ・宮本・能泉地区および上九一色・中道地区コミュニティバス、代替バス委託、バス路線維持運行費補助の事業を実施した。（R1.10～R2.3月）

## 防災拠点の整備

### 【概要】

災害応急活動に応じた機能を複合的に有する防災活動の拠点（下飯田防災用地）を整備し、大規模災害時における対策の充実を図るとともに、地域防災力の中核を担う消防団の本部拠点（甲運分団本部拠点施設）を整備し、地域コミュニティにおける防災力の強化を図ります。

### 【令和元年度実績】

- ・（下飯田）自治会、消防団等への仕様の説明を行い、確定するとともに概ね予定どおりに工事発注がされた。
- ・（下飯田）池田・新田地区自治会連合会、池田消防団等へ進捗説明を行う中で3月末に完成した。
- ・（甲運）甲府市消防団甲運分団本部拠点施設建設に伴う、実施設計及び地質調査が完了した。

## 地域防災力の強化推進

### 【概要】

地域住民が協力し合い、助け合う「自助」と「共助」の更なる充実・強化を図るため、地区防災計画のアフターフォローやハザードマップの周知をはじめ、将来地域の担い手となる子どもたちへの防災教育を推進するとともに、市内に居住する外国人市民に対して防災研修会等を行うなど、引き続き地域防災力の強化推進を図ります。

### 【令和元年度実績】

- ・地区防災計画に関する聞き取りを行った。
- ・地区防災計画を活用しての防災訓練の実施状況や課題の聞き取りを実施した。
- ・小中学校35校で防災教室を実施した。（残り1校は新型コロナウイルス感染防止のため中止。）
- ・外国人市民向け防災教室を3回実施した。

## 【概要】

環境問題の課題解決のため、全ての世代が環境に関する正しい知識を持ち、興味や関心を高め自ら行動に移せるよう、年齢に応じた環境教育を進め環境保全意識の醸成に取り組むとともに、クリーンエネルギーの更なる普及促進や、ごみの減量に向けた取組も進めます。

## 【令和元年度実績】

【①環境教育】 幼稚園・保育園：18園、小学校(放課後児童クラブ含む)：25校、大学：1校、自治会：31自治会、その他：3

【②クリーンエネルギー普及促進】 助成：太陽光と蓄電池の同時設置 45基、蓄電池単体 54基、ペレットストーブ 9基  
検討：次世代自動車助成対象を検討するとともに、助成効果について再検討した。

【③廃棄物の減量化・再資源化の推進】 ごみへらし隊による出前講座：自治会関係39回、大学生等5回、焼却工場見学（小学生）24回、放課後児童クラブ25回、親子活動7回

ごみ減量啓発キャンペーン、中小規模事業者に対する適正・分別排出の訪問調査（年間491回）

# 元気スタイル5 「故郷が好きなまち」を創る

開府500年を契機に甲府市の宝である歴史や伝統・文化等を未来にしっかりと継承するとともに、未来を託す人材（人財）の育成や地域資源の掘り起こしなど新たな宝を創造し、故郷こうふを大切に思うまちを創ります。

## 1 こうふ愛創り

### 32 故郷こうふの学びの推進

#### 【概要】

甲府の重層的で多様な歴史・伝統・文化等を再認識する「私の地域・歴史探訪」や、次の時代を担う子どもたちが甲府について自ら学び、自らの言葉で発表する「ラーニング・スピーチ」を展開し、「故郷こうふ」への誇りと愛着を育み、未来に向けたひとづくり・まちづくりに繋げていきます。

#### 【令和元年度実績】

- ・私の地域・歴史探訪の小冊子作成について、各地区へ助言を行った。
- ・1地区が散策会を行い、他地区についても実施に向けて働きかけを行った。
- ・甲府ラーニング・スピーチを実行委員会事業内で2回実施した。
- ・市内全31地区自治会連合会において小冊子を作成いただき、文化祭等で披露するとともに、小冊子をまとめた合本を作成し関係各所へ配布した。
- ・散策会を8地区で行い570人に参加いただくとともに、語らいの場を2地区で行い95人に参加いただいた。
- ・甲府ラーニング・スピーチを実行委員会事業等で6回実施した。

### 33 「甲府市の歌」の普及

#### 【概要】

学校、地域、様々なイベントや各種団体の活動の場など、本市を象徴する歌である「甲府市の歌」を歌う機会を増やし、「甲府市の歌」の普及を図る中で、市民の一体感や郷土愛を更に育てていきます。

#### 【令和元年度実績】

- ・「甲府市の歌」認知度アンケートの実施
- ・市HPへ歌詞入りの動画を掲載
- ・市立学校への事業協力依頼（校長会にて）
- ・防災行政用無線の17時のミュージックチャイムに「甲府市の歌」を設定（10/17の130周年の市制施行記念日から）
- ・庁内および、各団体への協力依頼

### 34 新たなプロモーション発信ツールの創造

#### 【概要】

市政情報、市民の活動や活躍、産物の紹介、観光スポットなど従来の様々なコンテンツに加え、SNS活用世代をターゲットに、若者に向けた動画やメッセージ性の強いPR動画など、よりリアルタイムに、よりキャッチーな情報を発信するとともに、直接、県外各地の自治体等を訪問し、人と人のふれあいの中「フェイスtoフェイス」で甲府ブランド（産物、施策など）を積極的にプロモーションするなど、新たなツールの創造によりプロモーション効果を高めます。

#### 【令和元年度実績】

- ・先進自治体へのアンケートの実施・集約・分析を行った。
- ・県外のイベントでプロモーションを実践し、職員のプロモーションスキルの向上を図ると共にプロモーション内容の検討に繋がった。
- ・テレビ放送局の勤務経験がある講師による動画の撮影・編集研修を行い、職員動画制作に関する基礎知識の共有とスキルアップを図った。
- ・中部横断自動車道やリニア中央新幹線の開通を見据えて訪問先を選定し、県外でのフェイスtoフェイスのプロモーションを実践する中で職員のプロモーションスキルの向上を図った。また、訪問先の反応を参考に今後のプロモーション活動の検討に繋がった。

## 2 新たな宝創り

### 35 歴史を感じられる甲府城エリアの整備

#### 【概要】

「お城がつなぐまち甲府城周辺地域」をコンセプトとした「甲府城周辺地域活性化基本計画」に基づき、賑わいの創出及び中心市街地の活性化を図る中で、風格のある、歩いて楽しい歴史を感じられる空間づくりを行います。

#### 【令和元年度実績】

- ・4月に都市再生整備計画策定支援業務委託（甲府駅周辺地区）を発注した。
- ・8月に都市再生整備事業に基づく令和2年度社会資本整備総合交付金の概算要望を国に対し行った。
- ・導入施設内容の検討と民間活力の導入に関する調査・研究や地権者との合意形成を行った。
- ・市道橋東線の歩道設置工事が完了した。
- ・3月に国へ都市再生整備計画を提出するとともに、令和2年度国庫補助金予算の本要望を行った。
- ・導入施設内容の検討と民間活力の導入に関する調査・研究を行うとともに、3月に本市独自の整備計画として、「小江戸甲府 城下町整備プラン」を策定した。
- ・令和2年度からの民有地測量及び建物調査を行うため、地権者との合意形成に向けた協議を行った。
- ・市道橋東線の舗装工事が完了した。

### 36 史跡等を巡る「散策ルート」の創出

#### 【概要】

国史跡の武田氏館跡・要害山・甲府城跡を巡る新たな散策ルートを創出し、甲府の歴史・文化・伝統の魅力を市民や来訪者に発信することで甲府の歴史的ブランド力を高めるため、各史跡とその周辺にある文化財を紹介するマップや、説明板等のサインを作成し、信玄ミュージアムなどを拠点に周遊を促進する仕組みを作ります。

#### 【令和元年度実績】

- ・後期に計画している「史跡武田氏館跡周辺の4つの散策ルート「武田城下ぶらり歴史探訪」を活用した散策ツアー」について準備を行った。
- ・史跡要害山の現地調査を行った。なお、史跡要害山に関するマップについては、隣接する熊城も掲載する予定のため、同時に熊城跡の調査も実施した。
- ・散策ルートマップ「武田城下ぶらり歴史探訪」を活用した散策会を2回開催、3回目の3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- ・史跡要害山の調査に基づき、要害山入口にある案内板を刷新したが、3月のハイキングツアーは中止とした。要害城の遺構などには、既に表示板が設置してあるが、表現が分かりにくいものもあるため、既存のものを活用しながら表現方法などをR2年度中に検討し、更新する。

### 「ドリームキャンパス」の推進

#### 【概要】

未来を託し次代を担う人材の育成に向けて、甲府大使や甲府にゆかりのある著名人、地域で活躍する匠などを「夢の先生」に迎えて授業を行い、多くの子どもたちに夢を持つことの素晴らしさ、大切さを伝える「ドリームキャンパス」を開催します。

#### 【令和元年度実績】

- ・通常のかうふドリームキャンパスを12人の夢の先生を迎え、14校で実施した。
- ・ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム「かうふ開府500年記念スペシャルマッチ」でドリームキャンパススペシャルとしてサッカー教室を行った。
- ・かうふドリームキャンパスをスペシャル版も含めて39回開催し、8,751人に参加いただいた。

### 甲州人の活躍や歴史などを伝える「語り部かうふ」の創出

#### 【概要】

歴史ボランティアガイドが「語り部」となり、信玄ミュージアム等を拠点として本市の歴史・文化・伝統を市民や県外からの来訪者に伝え、歴史的魅力を次世代に継承していくとともに、来訪者等を介して本市の歴史や魅力を全国に発信します。

#### 【令和元年度実績】

- ・信玄ミュージアムを拠点に、武田氏3代や甲府の歴史に関するガイド活動を開始した。
- ・信玄ミュージアムを拠点としたガイド活動を継続実施したが、新型コロナウイルス感染防止のため、2月後半から年度末まで活動中止とした。総計で1,013のグループ、8,340人にガイドを行った。
- ・ボランティアガイドの研修会は、年度後半の3回を中止し21回開催し、新規ボランティアガイドに4名の応募があった。
- ・開府500年記念誌「甲府歴史ものがたり」を活用した記念誌講座等を79回開催し、開府500年甲府歴史講座を19回開催した。

# 元気スタイル6 「世界がつながるまち」を創る

国際教育の充実により国際感覚のあるグローバルな人材を育成するとともに、外国人留学生やインバウンドによる地域活力の増進を図り、世界から人が集まるまちを創ります。

## 1 グローバルな人材創り

### 39 地域国際交流の推進

#### 【概要】

国際交流アンバサダーや多様な主体と連携した国際交流機会の創出等により、出前講座や外国人留学生との交流イベントなど幅広い世代で国際交流活動を活発に行うことで、市民の国際理解と国際感覚の醸成を図ります。

#### 【令和元年度実績】

- ・国際交流員の任用に関する要綱等の制定及び職員へのフランス文化講座の実施
- ・8月に国際交流員を任用後、SNS（FacebookやInstagram）等を活用し本市の魅力の発信
- ・国際交流チームのメンバーの選定
- ・国際交流員による新聞やSNS等を活用した多言語による情報発信
- ・国際交流チームによる会議を開催し、国際交流員の出前講座「フランス文化講座」の登録
- ・市民をはじめ市内中高校生と国際交流員との交流や「フランス文化講座」の実施

### 40 国際教育の推進

#### 【概要】

保育所や放課後児童クラブ等へ留学生等を派遣して読み聞かせを行うなど、外国語や異文化に触れ合う機会を創出し、幼少期から外国語への興味を抱かせるとともに、外国人留学生による英会話教室など各年代に合わせた国際交流活動を通じて国際性豊かなグローバル人材の育成に取り組みます。

#### 【令和元年度実績】

- ・外国人留学生と市内高校生による交流事業の実施へ向けて各大学や高校との協議を行った。
- ・園児等に対する遊びや読み聞かせ等の国際交流活動を実施するための視察を行った。
- ・11月23日に市内4大学の留学生（14名）と甲府商業高校生（14名）がペアとなり、交流を図りながら甲府の歴史を学ぶとともに、留学生がSNSを通じ甲府の観光スポットなどの情報を母国等へ発信を行った。
- ・甲府商業高校とフランスの高校生がSNSを通じコミュニケーションを図りお互いの言葉や文化等の交流を行った。
- ・市立西中学校・商業高校において、国際交流員による「フランス文化講座」を行った。

## 2 海外活力による賑わい創り

### 41 東京2020オリンピック事前合宿とホストタウン交流の推進

#### 【概要】

東京2020オリンピックにおけるフランス卓球・レスリングチームの事前合宿の受入れを行い、選手が本大会に集中して臨めるよう環境を整える中で、スポーツの振興とともに日本文化の発信とインバウンド観光の促進に繋がっていきます。

#### 【令和元年度実績】

- ・フランス卓球の受入れに伴う備品の調達（卓球台等）、並びに事前合宿受入れに伴う委託業務の発注
- ・フランス卓球連盟役員の来甲（11月）に関する協議
- ・各種イベントで事前合宿地のPRとともに、市内の中学校給食においてフランス家庭料理メニューの提供を行った。
- ・フランス卓球連盟役員の来甲に合わせた実施協定締結の実施（11月）
- ・フランスレスリング連盟との実施協定締結に向け協議を重ね同意を得たが、来甲が叶わず延期
- ・聖火リレーの警備等について山梨県との協議を行った。

### 42 外国人留学生の応援

#### 【概要】

外国人留学生を様々な場面で応援することにより、海外から多くの留学生を呼び込み、定住促進や地域経済の活性化を図るとともに、外国人留学生のネットワークを活かした国内外への情報発信力の向上によって交流人口の増加を目指します。

#### 【令和元年度実績】

- ・外国人留学生と地域との交流事業の実施
- ・山梨大学により、成都市へ教員と学生を派遣し、企業や大学を通じて本市並びに山梨大学のPR
- ・スリランカで本市の地下水研究の発表を行うとともに、甲府の水のPR
- ・留学生誘致並びに留学生と地域との交流事業の実施
- ・留学生に対する奨学支援を行うとともに、海外での本市の住環境等のPR

### 43 外国人を対象とした就業機会の創出

#### 【概要】

産業人材として活躍する機会を創出するため、市内での就職を希望する留学生をはじめとする外国人が、市内企業に就職できるよう、合同企業説明会を実施し、外国人の就業と企業の雇用確保を支援します。

#### 【令和元年度実績】

- ・外国人採用セミナーについては、日本貿易振興機構（ジェトロ）の高度外国人材活躍推進コーディネーターを講師に、9月11日に開催した。（参加企業15社）
- ・合同企業説明会については、セミナー開催日に実施した。（参加企業12社 留学生等参加者27人）
- ・留学生に対して就業や希望する企業の職種等のアンケート調査を実施した。

# 元気スタイル7 「タフで優しい市役所」を創る

中核市甲府の役割を果たせる人材の育成と持続可能な行財政運営を進めるとともに、市民に寄り添い、市民と協働のまちづくりを推進し、市民に信頼される市役所を創ります。

## 1 成長する人材と組織創り

### 44 民間企業などの職務経験者等の活用

#### 【概要】

民間企業や公的機関で培われた知識や経験を市政に活かせる人材を採用し、「経営感覚」や「顧客重視」の発想などを職員に浸透させ、職員の意識改革と組織の活性化により更なる市民サービスの向上を図ります。

#### 【令和元年度実績】

- ・民間企業等職務経験者にかかる募集要項（8/26）、周知・募集活動（8/26～9/27）
- ・職務経験者採用職員と若手職員（採用4年目職員）との意見交換会（9/11）
- ・職務経験者採用職員と主任研修受講職員との意見交換会（10/7）
- ・民間企業等職務経験者にかかる第1次試験の実施（10/20）・第2次試験の実施（11/16）

### 45 先進都市派遣研修等を活用した自律型人材の育成

#### 【概要】

先進事例の研修や視察をなお一層充実させ、新しいノウハウの修得や職員意識のイノベーションを図ることにより、前例に捉われない柔軟な発想や意欲を持ってチャレンジできる自律型人材（人財）の育成に取り組みます。

#### 【令和元年度実績】

- ・提案参加型方式は7月から本格実施し、4件の提案があった。
- ・先進事例視察研修6件12名のうち、提案参加型方式によるものは1件4名であった。
- ・「人材マネジメント部会」が5回実施され、職員6名を派遣した。
- ・（一社）自治体国際化協会のプログラムを活用した自治体の事例研究。

### 46 キャリア・スキル（実績・実力）重視の人事制度

#### 【概要】

職員が、自らの志向や適性を活かし、やりがいを感じながら職務に精励できる環境を整えるとともに、昇任試験や人事評価結果を活用し、キャリア・スキル（実績・実力）を重視した昇任や適材適所への配置を実施することで、市民ニーズへの的確な対応とサービスの向上を図ります。

#### 【令和元年度実績】

- ・エキスパート養成制度を活用している職員へのインタビュー、先進事例の検討
- ・職員へのインタビューに基づくエキスパート養成制度の検証
- ・人事評価制度の評価区分の配点見直しの検証、チームチャレンジ評価制度との連携の検討
- ・人事評価制度の評価区分等の見直し案の作成、チームチャレンジ制度に関する検討
- ・昇任試験制度の見直し検討
- ・課長昇任制度の見直し案の作成

## 47 執行体制の最適化の推進

### 【概要】

内部組織を統制する仕組みの充実を図るとともに、現場主導の業務改善を推進し、各職場及び職員が事前に対策を講じる積極的な（プロアクティブな）行動を促すことで事務の適正な執行を確保し、市民の期待と信頼に応える、質の高い行政サービスを継続的に提供します。

### 【令和元年度実績】

- ・関係部署係長によるワーキンググループで協議する中で、業務改革の実施方法について検討し、指針の骨子を作成した。
- ・上半期に作成した骨子を基とした「業務改善ガイドライン（案）」を経営企画会議に諮り、今後の周知・活用方法について協議した。
- ・職員提案制度をチームチャレンジ評価制度に統合することも含め、実施方法や人事評価への反映方法等について検討した。
- ・実現可能性が高く、効果の期待できる提案が数多く提出されるよう見直しを行い、職員提案制度を推進した。
- ・時間外勤務に関する職場ヒアリングにあわせ、各部内の流動的的配置変更の基本的な考え方と積極的な運用について周知した。

## 2 協働して未来に進む市政創り

## 48 市民活動の支援と応援

### 【概要】

市民、自治会、ボランティア団体・NPOなどの多様な主体による様々な活動が円滑かつ効果的に行えるよう、地域の担い手の確保に向け、ボランティアのマッチングの仕組みづくり、ボランティア情報の一元化、市ホームページ等からの情報発信などを行い、ボランティア登録者の増加を図るとともに、協働のまちづくりに寄与する活動に対して表彰制度を創設し、様々な市民活動の奨励やボランティア活動の活性化を図る中で、協働によるまちづくりを推進します。

### 【令和元年度実績】

- ・ボランティア人材登録事業及び市民団体活動表彰制度の他都市の調査・研究
- ・甲府市ボランティアセンターにおけるボランティア登録者の分野別リスト及び集計表の作成
- ・甲府市市民団体活動表彰要綱及び実施要領（案）の策定
- ・「甲府市ボランティア人材登録事業実施要領」の策定
- ・「甲府市ボランティア団体等表彰要綱」及び「甲府市ボランティア団体等表彰の手引」の策定

## 49 データの活用方法の確立

### 【概要】

ICT技術の進展によるデータ活用が容易になったことから、過去のデータから個人の健康問題を予測した予防型のサービスを展開するなど、積極的なデータ活用とデータに基づく施策形成に取り組みます。

### 【令和元年度実績】

- ・オープンデータ化の拡大（AED設置施設等データ公開、就学前施設の公開型GISでの拡大更新、指定緊急避難地一覧データ公開、公開型GISでのオープンデータ機能追加）
- ・職員研修の実施（RESAS研修、統合型GIS操作研修、公開型GIS操作研修を実施、2020年度に向けたBIツール操作研修の協議）
- ・データ利活用ルールの策定（先進事例の調査研究、検討部会設立の準備）

## 行財政の改革と更なる財政健全化

### 【概要】

人口減少・少子高齢化が進行する中、市民サービスの持続性を確保するとともに、更なる行政サービスの向上を図るため、選択と集中によるスクラップアンドビルドにより一層の行財政改革を進め、効率的で健全な自治体運営を確立します。

### 【令和元年度実績】

#### ◎歳出抑制

- 庁内補完機能を統合し「経営企画会議」を設置 ○行政評価外部評価委員会による6事業に対するヒアリングを実施
- 「下水道事業に係る財務事務の執行及び事業の管理について」をテーマとし外部包括監査人によるヒアリングを実施
- 病院経営委員会を3回開催し「新体制の運営基本方針」を策定 ○第6次補助金見直し方針の策定
- 中期財政運営方針を策定 ○企画部長による大型事業の再精査ヒアリングを実施
- 行政評価の結果を令和2年度予算編成へ反映

#### ◎歳入確保

- 消費税率引上げに伴う使用料等の転嫁を実施 ○ネーミングライツ導入の制度精査は未実施 ○中期財政運営方針を策定（再）
- 3年に一度の使用料手数料の見直しを実施

## AI・RPA等の導入

### 【概要】

AI（人工知能）・RPA等（業務の自動化）の最新の技術を活用して効果的・効率的な行政運営を確立し、新たな市民サービスの創出、迅速な市民サービスの展開、均一な質の高いサービス提供を目指します。

### 【令和元年度実績】

- ・多言語音声翻訳アプリの導入を完了し通常稼働している。
- ・RPAのプレミアム商品券管理システムへの導入を完了し、担当課立会いの下、RPAのシナリオの動作確認を行った。
- ・情報提供型AI、保育所AI、会議録AIの業務への該当性、費用対効果の調査完了、引き続き調査・研究を進めている。
- ・新たなAI・RPA等については導入に向けて調査・研究を進めている。